

藤田浩子の 少し昔のこと 〈96〉

私の小学校1年生

ピカピカの1年生が、ちょっと大きすぎるランドセルを背負って、通学しています。自分のうちの子でなくても、おめでとう！と言いたい雰囲気です。

私が東京の小学校に入学したのは、今から80年（正確には79年）前の1944年、戦争の真っ最中、というかそろそろ負け戦だということがわかってきたころのことです。サイパン島も米軍に取られ、次はいよいよ日本本土が爆撃を受けるだろうということで、東京をはじめ大都市や軍需工場のある地方都市などの小学生が、学校ごと疎開することに決まったのが6月、入学したのは、その2か月前の4月ですから、形ばかりの入学式、その後も1日か2日通っただけで私の1年生生活は終わりました。その後奥多摩に疎開しましたが、そこもあぶない



ということで、福島県の小さな町、三春町に疎開して、やっと2年生から学校に通えるようになりました。が、新しい2年生の教科書を使って勉強したのは1学期だけ、8月には敗戦になり、9月からは先生に言われた通り、教科書に墨を塗るのが仕事でした。サイパン島が陥落したときに、識者や国会議員の中にも、「負け」を認めるべきだという意見があったそうですが、戦争指導者たちの「愛国心」だの「面子」だので、最後まで戦うということになったそうです。指導者たちが部屋の中で、自分たちの愛国心や大和魂を満足させたり面子にこだわるのはラクですけど、その間に最前線の兵隊さんがたくさん戦死されました。3月10日には東京大空襲があり10万人もの人が亡くなりました。8月には広島と長崎に原子爆弾が落とされました。沖縄では子どもたちを長崎に疎開させようと乗せた船「対馬丸」が米軍の潜水艦に撃沈され、800人近い子どもたちが海に放り出され亡くなりました。そんな時代に始まった私の学校生活でした。

リレー連載 <229>

わたしの大好きな絵本

さき（ベリーズ）

「ピンポン♪」ボタンを押すと軽快に流れ始める音楽。普段はあまり押すことのできないあのボタンを絵本で押せるなんて！子ども達の目がキラキラ輝く絵本。そして、私も大好きな絵本。それが『へんてこバス』です！

1度見ると癖になり、「へんてこバス読んで！」とリクエストが殺到する人気ぶり。

絵本を見続けることが苦手なお友達も一気に釘付けになっちゃう魔法の絵本なんです！

「うちの子絵本に興味がないんです…。」「お話しがわからないみたい…」と悩んでいたお母さん達

『へんてこバス』（バスボタン歌えほん）

作：藤本ともひこ うた：ケロポンズ

出版社：鈴木出版

が、絵本をじっと見つめる我が子にビックリしたなんてことも…。絵本の世界に入るはじめての一步になっちゃう絵本です。

私も子ども達も、読み聞かせが始まる前から「ふふふ…笑」と笑いがこみ上げてきたり、「へんてこバス♪」と自然と口ずさんでしまったり…。

小さい子から大きい子までおすすめ絵本です。

親子でやりとりをしながら楽しんでみてくださいね～！

